

作成年月日：2021年3月31日

## ご報告

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を共同研究機関から提供をうけ実施していますが、本来2018年7月に公開すべき下記の患者様への大切なご案内が、事務手続きの不手際で遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。なお、すでに研究は終了しておりますので、データの削除等ができないことも重ねてお詫び申し上げます。下記のご案内に該当する方で、ご意見やご不明な点などがございましたら、久留米大学病院臨床研究センター 電話：0942-65-3749（直通）（対応可能時間 平日9:00~16:00）までご連絡ください。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

### 【研究課題名】動脈硬化に関する非侵襲的検査と関連因子についての検討

#### 【今回の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2016年8月から2018年3月までの間
- 2) 受診科：久留米大学病院 循環器病センターまたは心臓内科
- 3) 対象疾患名：肺高血圧症、冠動脈疾患、心不全、心サルコイドーシス、心臓弁膜症やその他の疾患と診断され、baPWV・CAVIを実施した方

#### 【診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、baPWV・CAVI・FMD・心エコー、頸動脈エコー、最高血圧、BUN、Cre、eGFR、HDL、TG、LDL、Gle、HbA1cの測定結果

#### 【研究目的】

動脈硬化の検査として用いられるBaPWVとCAVIは心機能、頸動脈の硬化や血管内皮機能障害による早期の動脈硬化を反映しているのかを調べ、それぞれの有用性について比較する。また、動脈硬化が進行した結果起こる頸動脈内中膜複合体厚の肥厚について、年齢や血液データを用いてどのような患者に起こりやすいのか調べることを目的とした。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦2018年11月まで（すでに終了）

【利益相反に関する事項】本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【研究責任者】久留米大学病院臨床検査部 藤井直人（当時）

研究番号 17292